

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175000413		
法人名	社会福祉法人北見有愛会		
事業所名	グループホームゆう&あいひまわり (2F)		
所在地	北見市花園町38番地6		
自己評価作成日	平成29年2月7日	評価結果市町村受理日	平成29年4月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [http://mhlw.go.jp/01/index.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_2016\\_022\\_kani=true&JigvosvoCd=0175000413-00&Pr](http://mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigvosvoCd=0175000413-00&Pr)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市とん田東町453-3
訪問調査日	平成29年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームゆう&あいひまわりでは、終末期を迎える方であっても、できる限りご本人とご家族の希望に沿った介護ができるよう努めております。  
 事業所として何が出来るか、入居者の方ひとりひとりに何が出来るかを常に考え、時にご家族も介護を行う一員として協力をお願いしながら、人間同士の繋がりを大切に毎日を築いております。  
 また、地域密着型施設としての存在意義を考え、専門的知識や技術を活かした社会貢献を行う事で、地域住民の方にも身近で開かれた施設と感じて頂くよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を職員で意見を出し合い、取りまとめ、それをもとに作成し、実践するよう取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人主体のお祭りや町内会行事、運営推進会議などで交流を図り、ひまわり主体の講習会を予定するなど、開かれた施設づくりを目指している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域に向けて認知症サポーター養成講座の開催を予定するなどして認知症に対する理解を深めて頂けるよう取り組んでいる。また、運営推進会議においては、高齢者相談支援センターの協力を得ながら、制度の仕組みなどを説明させて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回の開催を行っており、その中で頂いた意見を反映、実践できるよう心掛けています。一方で、出席者が固定されており、幅広い意見交換等ができていない現状も課題として上げられる。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業運営について判断が困難な場合は、市担当者へ相談や報告を行っている。また、入居相談等があれば、可能な限りの協力体制を整える。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内外部の研修で理解を深める取り組みを行っている。行動の制限ではなく見守りの強化で対応しているため、出入口にセンサーを設置するなどし、事故防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修として資料やマニュアルを用いて虐待の種類や発生要因等の理解を深めている。認知症としてのみならず、人としての理解を深めるため随時話合える環境づくりに取り組んでいるほか、日頃から職員同士の会話の中で、些細な変化にも気付けるよう精神的なケアについても意識を持って業務に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的な内部研修を実施している。外部研修にも機会があれば積極的に参加している。また、実際にご家族や弁護士との連携を行い、都度確認、報告を行う事で支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前訪問時に疑問や不安な点をお聞きし、理解して頂けるよう意識している。その上で、契約時に重要事項説明書や契約書に沿って説明を行い、納得した上でサービスの提供が始められるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族へ定期的な通信を発行している。またご家族が意見を話しやすいよう、些細な事でも相談や報告を心掛けている。ケアプランの更新時においても要望を伺い、反映できるよう努めている。必要時はその都度電話連絡を行い、相談や要望に対応できるよう心掛けている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は法人の管理職会議や毎月の事業所会議の中で職員の意見や提案を反映できるよう心掛けている。また職員個々の施設への理想像や行事への提案を行う機会を設け、業務に活かしていけるよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人として給与や労働条件の見直し、健康診断、資格取得へのサポートを実施している。また管理者は職員の相談を受け、状況によっては一時的な休職や事業所間の異動も含めた職場環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の資格に応じた研修へ参加する機会を設けている。また管理者は、社会人として専門職としての自覚を持ち業務に携わるよう日頃から職員の指導を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所との交流や研修、定期的な会議の中でコミュニケーションを図り、意見を交わし合う事でより良いサービスの向上に繋がるよう心掛けている。また、計画作成担当者はケアマネジャー連協会の勉強会へ参加し、他事業所との交流、情報交換を行っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に協力機関に情報提供を行って頂くと共に、ご本人やご家族と面談し聞き取りを行っている。入居後についても個人のペースに合わせたコミュニケーションを図り不安を感じる事がないよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の施設見学や面談の際にご家族の要望を聞くなどして信頼関係の構築を行うほか、些細な事でも何か不安や不明な点があれば、連絡を頂くよう声を掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前よりご本人やご家族の希望を確認する機会を設け、入居後のサービス内容へ反映させている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人としての繋がりがりや関わり合いを念頭に、共に助け合う関係構築を築けるよう心掛けている。また、できる限り自己選択や自己決定をできるよう声掛けを行っている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設としてできる事、ご家族としてできる事、それぞれ双方の役割があり、共に支え合う関係である事をお話させて頂いている。また、終末期の方についても好みの食べ物や手作りのものをお持ち頂き、提供するなどしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	冠婚葬祭の外出支援のお手伝いや、ご家族と共に行かれる外出、外泊の準備を行うなどの支援を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の生活習慣や自分のペースを尊重しながらも、レクや食事の時間等を利用し、入居者同士の交流を図れるよう努めている。また、コミュニケーションが困難な方についても、職員が仲介し、関わりがもてるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も「近くまで来たから」と立ち寄って頂いたり、農家のご家族の方が野菜を持ってきて頂く事もある。また、退去されたご家族に紹介をされた施設見学や入居申し込みに来られる方もいる。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族からお話を伺う他にも、日常生活の会話の中や時々ゆっくりと話をする時間を設け、本人の意向や生活ペースを把握するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人やご家族へ伺う事はもちろん、生活の中で、過去の話や体験談などを伺い、ご家族へ確認する事により、サービスやプラン、日常生活の中に取り入れるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的なアセスメントで残存能力が保持できるようなプランに反映させている。また、毎日の心身の状況を行動、言動、表情などから記録し、申し送り等で報告する事により職員間で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にモニタリングとアセスメントを職員間で話し合い行っている。ご本人やご家族の希望をもとにプランを作成し、状況の変化に合わせて変更を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランによる支援内容以外についても、表情や言動等をありのまま記録している。気づいた点や本人の希望が聞かれた際などは、職員間で情報を共有し申し送りを行っており、それをもとにプランの見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	申請書類等の代筆、代行手続き等もご家族の希望時は対応している。またご家族が遠方の方は入院中であっても洗濯物の入れ替えや消耗品を医療機関に届けたり、面会時本人の様子や現在の状況を報告するなどし、制度に捉われないサービスの提供を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	生活保護や市の福祉サービスを活用し住み慣れた地域での生活ができるよう支援している。医療機関についても慣れ親しんだ場所を利用して頂くなど、安心した生活を送れるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から関わりのある主治医への受診を継続し、他診療科や医療機関へかかる際にもご本人やご家族の希望を伺い受診するよう努めている。また、受診はご家族の負担軽減のため、できる限り職員が付き添い主治医との関係構築に努めている。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制により、毎週金曜日に看護職員による健康状態の確認と把握を行っている。また、心身の状況に合わせ、外部訪問看護の契約も個別に可能であり、精神的な支援や終末期の対応もできる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には職員が同行し、医療機関への情報提供を行っている。また、入院中についても定期的な面会をし、本人の状況を確認するほか、カンファレンスに参加させて頂くなどして情報交換や共有に努めている。入院期間中であっても、ご家族との関係性が途切れないよう、定期的に連絡や報告を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に今後どのような形で最期を迎えるかを看取り指針をもとに説明を行い方向性を共有している。また、身体状況の段階が変わるごとに、ご家族へ相談する機会を設け、後悔のない最期を迎える事ができるよう施設全体で取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な内部研修や救急救命講習の受講を通して初期対応の方法を身につけてはいるが、実際の経験等により実践力の個人差があり、今後も継続して学んでいく機会を設ける必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルの一部改訂を行っている。また内部研修や町内会の方も参加を行う避難訓練を行い、地域との協力体制や関係構築に心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人を尊重し、自己決定ができるよう声掛けやケアに配慮している。また、管理者は職員には客観的視点から自らを見つめ入居者の対応にあたるよう日頃から指導している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から信頼関係を大切に個々の想いや希望を訴えられるよう心掛けている。表現が困難な入居者の方については、生活背景を理解し、ご家族の面会時に本人ならどうしたいかを一緒に考え、できる限り希望に沿えるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の生活サイクルの把握に努め、各入居者に職員が合わせるよう努めている。自ら進んで何かをする事が困難な方については、落ち着いて話をできる環境を整えたり、共に作業をする事で、本人の希望にできるだけ沿うよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴や起床時等衣類を一緒に選んだり、外出の際には身だしなみを整える手伝いを行うなど、意志の尊重し反映できるよう心掛けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前にはおしぼりたたみや食後は食器やお盆をたたんで頂くなど職員と共にやっている。また不定期ではあるが、ご家族のご理解のもと、外食やお弁当を出前するなどしている。誕生会には事前に好みを伺い、好きなものを提供するなどしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量の他に食事の様子も記録する事で職員間で情報の共有をしている。また食事量の低下がみられる場合においても、主治医へ相談をしたり、ご家族から好みの物をお持ち頂くなどし提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアや義歯の洗浄を促し、行っている。また状況に合わせて、歯科受診や往診を行い、嚥下状態の低下を防ぐよう努めている。また、外部研修等に参加する機会を設け、会議で報告をする事により職員間での情報の共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンや記録を行っている。また、心身の状況に合わせ、ポータブルトイレの設置や尿取りパットの種類の変更をしている。立位が困難な方についても希望時や排便時に2人介助を行うなどして、トイレでの排泄支援に取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲水量の把握や排便間隔の記録を行っている。また状況に合わせ腹部マッサージや乳製品を摂るなどし便秘緩和に務めている。また主治医に状況を報告し下剤の調整を行い、調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の気分や体調に合わせて入浴日時の調整をしている。また、心身の状況に合わせ、職員二人介助で入浴を実施するなど、不安なく楽しんで入浴して頂けるよう心掛けている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体力の低下や体調が優れない様子がみられる場合には居室で休むよう促し、就寝時間についても個々の習慣を尊重している。また夜間についてもできるだけ安眠を妨げないよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診記録や個々の服薬状況は日誌やファイルでいつでも確認できるようにしている。また、誤薬がないようダブルチェックやご本人と共に確認を行うよう努め、記録している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や普段のコミュニケーション、ご家族のお話から、本人のやりたい事や好む事を把握している。必要な物を準備したり、一緒に楽しみながら行うよう支援に努め、多方向からのアプローチを行い、観察する事で、新たな楽しみを見出し、気分転換等を図れるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	車椅子を利用されている方が多数いるものの、可能な限り散歩など近隣の外出を行っている。その他行事や外食、お墓参りなどの外出のお手伝いをご家族の協力のもと行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほぼ全ての方のお小遣いはお預かりしているが、少額程度は本人が管理されている方もいるため、医療機関受診後や外出レクの時などに自ら好きな物を選び買い物するなどしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも本人の希望に合わせて電話での連絡をする事が可能であり、手紙のやり取りも郵便局が近隣にあり対応可能である。またハガキや封筒等の準備のお手伝いや記入の手助けを職員が必要に応じて行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気のもと生活感がなくならないような空間づくりを		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	離床介助を促しながらも、個々の意志を尊重し、思い思いに心身の状況に合わせた過ごし方ができるよう努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できる限り馴染みの物を持ち込んで頂くようご家族へ伝えている。また個々の状況に合わせて、希望を確認しながら配置を行うなどして落ち着いて生活できるよう努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレの前に案内板を掲示したり、廊下や食堂などに移動の妨げにならないよう努めている。また、居間での座る位置は、自立移動を行える方の生活導線に配慮した配置を心掛けている。		